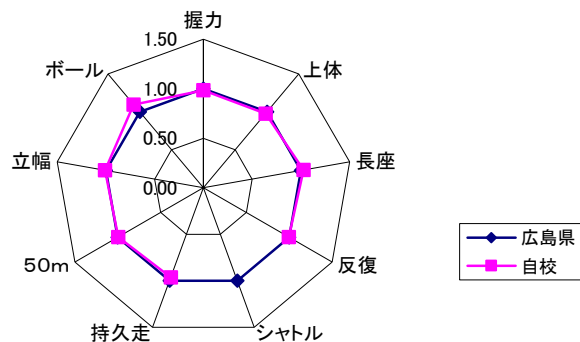


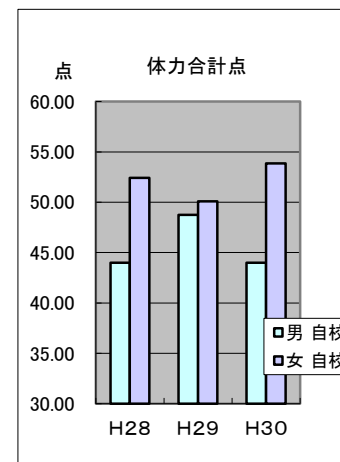
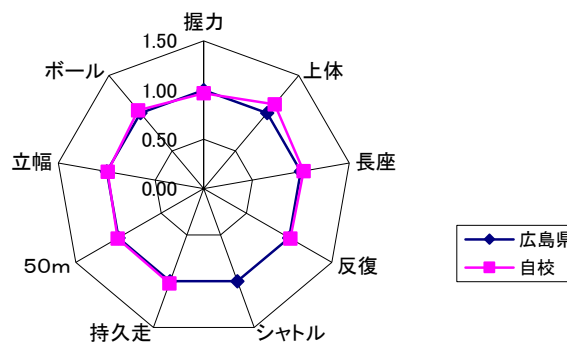
男子の体力合計点 学校 44.00点 県平均 44.79点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 53.86点 県平均 52.76点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



H30体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
・女子は県平均を0.10秒上回っている。男子は県平均を0.04秒下回っている。前年度から、男子は0.68秒、女子は0.36秒向上している。継続した取組の成果が出ており昨年度より記録の向上はみられたが、課題もある。
- ② ハンドボール投げ(中学校区の課題種目)
・中学校区の全学年の男女において、課題があり、県平均を下回っている学年が多かったが、中学2年生男女は県平均・全国平均ともに上回った。2学年男子は前年度に比べ、2.91m向上し、女子は1.20m向上した。ボール投げの経験が少ない生徒が多いので、ボール投げの運動を意識して授業に取り入れて機会を今後も継続して確保していく。
- ③ 長座体前屈(自校の課題種目)
・男女ともに県平均・全国平均を上回った。男子は前年度に比べ、6.05cm、女子は4.85cm向上している。前年度からの取組の成果は出ているが、さらなる向上を目指す。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子 7.7秒, 女子 8.4秒)	具体的な取組内容 ・筋力や巧緻性を高めるため、保健体育科の授業で、準備運動や補強運動の中に、サーキットトレーニングを取り入れ、総合的な体力向上を図る。 ・股関節の可動域を広げるために毎時間の保健体育の授業でストレッチを行う。
②中学校区の課題種目 (ハンドボール投げ) 具体的な数値目標 (男子 25m, 女子 15m)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・ボール投げを保健体育の球技の授業だけでなく体づくり運動等でも取り扱う。 ・部活動など教科外活動において、ボール投げを積極的に行う。
③自校の課題種目 (長座体前屈) 具体的な数値目標 (男子 49cm, 女子 51cm)	具体的な取組内容 ・保健体育の毎時間の授業でストレッチを行う。 ・部活動など教科外活動において、ストレッチを積極的に行う。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)